

令和2年 4月 1日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 [redacted]
団体名 NPO 法人 生活文化ルネッサンス [redacted]
代表者氏名 原 田 雅 顕 [redacted]

令和元年6月6日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト —花でつなぐ人と人—
事業費総額	70,638 円
事業期間	自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日
実施場所	NPO法人 生活文化ルネッサンス 管理地
参加者数	地域の方々の参加の活動を以下に記します。 ① 6月1日 コスモスの播種&バーベキュー (28人) ② 6月23日、7月27日、8月24日。9月8日 草取り等 (累計38人) ③ 9月21日～23日、28日、29日 彼岸花案内所開設 ④ 9月29日 1坪ガーデニングコンテスト実施 来訪者156名 ⑤ 11月16日 種取り (12人) ⑥ 12月12日 植栽、桔梗の手入れ ⑦ 3月1日 菊の植替、草取り ⑧ 3月15日 圃場整備
事業実施内容及びその成果	NP0管理地で実施している圃場において、花の播種・苗の植付を地域の方々と共に実施した。 日向地域の彼岸の時期では、昨年度に引き続き、敷地内に市観光協会との協働で案内所を設け、地域のご婦人方の協力を得て来街者への案内を行った。訪れた方々との交流の場になっている。また、地域の方々の野菜を販売し、好評だった。 市の花「桔梗」や「ハーブ」も更に増殖を行っている。圃場におけるコミュニティの場として、更なる充実を図った。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	日向・里地里山づくりプロジェクト 一花でつなぐ人と人
団 体 名	NPO法人 生活文化ルネッサンス

収入の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
市補助金	50,000	伊勢原市協働事業採択補助金
主催者負担	20,638	
収入合計額	70,638	

支出の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
花の苗	5,529	ハーブ苗等
圃場設備費	2,344	垣根の竹等
圃場整備費	27,117	耕運時施肥（肥料代）
飲物代	12,026	ペットボトル(熱中対策用)
昼食代	12,417	作業に参加者の地域の方々へ
消耗品費	1,998	来街者配布用品
イベント賞品	9,207	コンテスト賞品代
支出合計額	70,638	

日向・里地里山づくりプロジェクトー花でつなぐ人と人ー 事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☐企画の段階から ☒実施段階から ☐その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒市民活動団体 ☐市 ☐その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒はい ☐いいえ 意義 () 4. 事業の目的は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目的 () 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目標 () 6. 相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由 ()
実施段階	7. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒はい ☐いいえ 理由 () 8. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由 () 9. 進捗状況や情報を共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 10. 実施プロセスの記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 11. 互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由 ()
終了後の段階	12. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒はい ☐いいえ 理由 () 13. 目的・目標は達成できたか ☐はい ☒いいえ 理由 () 14. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由 () 15. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 ⑤ 4 3 2 1 】 理由 () 16. その他、気づいた点